



特別企画

他団体と連携するクラブ

一般社団法人



コンサドーレ北海道スポーツクラブ ＜北海道札幌市＞



総合型クラブが地域に定着し、浸透するためには、地域との一体感の醸成が重要となります。そのためには、地域社会からの信頼性を確保し、各種機関・団体との相互補助の関係を築くことが必要となってきます。

そこで今回は、他団体と連携し、充実した活動を行っている総合型クラブをご紹介します。



1 クラブ概要

サッカー以外でも事業を推進

2014年2月、サッカーJリーグに所属する北海道コンサドーレ札幌が、サッカークラブの枠を超えて、北海道内の地域活性化やスポーツを通じた子どもたちの心身の育成、生涯スポーツの実現、コミュニティの創出を目指し、当法人を設立しました。

サッカー、バドミントン、カーリング、チアリーディング、障がい者スポーツなどの種目を取り入れ、スクール事業やチーム運営事業、イベント事業や人材派遣事業を行っております。

一般会員は約1100名 職員20名

当クラブは、職員20名で運営しており、一般会員で約1100名、賛助会員で約30名が在籍しております。会員の内訳は以下の通りです。

■一般会員

サッカースクール990名、大人サッカースクール20名、バドミントンスクール30名

大人バドミントンスクール15名、北海道リラ・コンサドーレ(女子サッカーチーム)40名、

月下美人(シニアチアリーディングクラブ)20名

■賛助会員

法人5名、個人24名



北海道コンサドーレ札幌バドミントンチーム(2022 S/Jリーグ昇格)
集合写真



北海道コンサドーレ札幌カーリングチーム
(世界ランキング16位※2021年11月時点) 集合写真



北海道リラ・コンサドーレ(北海道女子サッカーリーグ所属)
リーグ戦イレブンショット

2 9 団体と連携し相互協力

現在、9団体と連携を行っており、多種多様な内容で相互協力を行っております。今回はそのうち7団体との連携についてご紹介いたします。

①「グラスルーツアライアンス」

連携団体：NPO法人さっぽろAMスポーツクラブ、NPO法人IFCスポーツコミュニティ

■連携目的

北海道という広大な土地でスポーツの普及活動をするには、我々の持っている人材やつながり、実施種目だけでは到底及びません。そのため、より限られた地域に根差したスポーツクラブさんと連携することにより、さらに広域に多種目で活動することができると考えました。そして、連携団体の知名度向上や会員増加、ノウハウの相互共有による相互発展まで結びつけられると思います。

■連携事業

「コンサドーレ」の名称を冠したサッカースクール事業や幼稚園等への巡回教室、指導者間のレベルアップを目指した相互交流、育成年代の選手たちへより良い環境を提供できるように情報共有などを行っております。



さっぽろAMスポーツクラブ グラスルーツアライアンス締結

②「産学連携協定」

連携団体：札幌国際大学、クラーク記念国際高等学校

■連携目的

北海道内の子どもたちがより夢を追うことができる教育の推進、普段見ているスポーツを多方面から研究できる環境づくりに協力できると考えております。

また、我々の会員である子どもたちの将来への受け皿として機能し、生涯においてクラブやスポーツとの結びつきを感じて、より豊かな生活にできると思っています。

■連携事業

クラブからスポーツビジネス学科への人材派遣(教授)、サッカー部への人材派遣(監督)、学生のJリーグのフィールドワークや運営作業の職業体験などを行っております。

また、相互の持ち合わせる施設や指導者を駆使して、助け合えるような関係性を築いています。



クラーク記念国際高等学校 産学連携協定締結式



札幌国際大学 産学連携協定締結式

③「包括連携協定」

連携団体：紋別市、札幌市、留萌市

■連携目的

スポーツの振興活動やプロモーションノウハウ、プロスポーツクラブを活かして、地方創生をお手伝いできると考えております。

しかしながら、クラブとして北海道全域での活動を展開していくために協力いただくことができる企業や自治体などの団体が少ないという課題があります。地方自治体としては、子育て環境の不便さや健康意識の改善、教育環境の整備などに課題を感じている場合が多い、というように双方が抱える課題を双方の強みで解決し、より魅力あるクラブ・まちにできると考えております。

■連携事業

クラブから高校・中学校・スポーツ少年団などへの人材派遣(コーチ)、スポーツイベントの開催、SDGsへの取り組み、各種啓発物の共同制作などのまちづくりの一端を担う事業などに取り組んでいます。



留萌市 包括連携協定



札幌市 包括連携協定

3

新たな収入源創出、ファン獲得等の効果生まれる

これらの連携により、事業拡大による新たな収入源の創出や人材確保、会員への満足度向上、クラブの認知度向上によるファン獲得などの効果を得られています。

連携に欠かせない中長期的な視点

ただし、これらの連携には、双方合意はもちろん、最終的な目標の設定とその目標に基づく事業計画は重要になると考えています。

これらの連携は、短期的なものではなく中長期的に展開していくものでありますが、教育機関の担当者や地方自治体の担当者には定期的に人事異動があるため、事業開始とともに最終目標に関して握っておくことが必要であると考えます。

そして一番大切だと考えているのが、「連携締結までの早さ」「プレゼントの中身(連携内容)を決めてからラッピング(連携締結)をする順番」です。

4 北海道のまちづくりと活性化を目指す

クラブとしては「北海道にスポーツのある日常を」というスローガンを掲げて活動をしております。サッカーをはじめとする様々なスポーツに関わり、老若男女・障がいの有無問わずスポーツ文化の定着を目指して今後も活動していきます。

また、これらの活動を通して、北海道という地域のまちづくりや魅力発信のチカラとなり活性化を目指します。

北海道と共に前進し、「世界」へステップアップを

もちろん、「世界」を語るには時期尚早かもしれませんが、このスローガンは1年限りのものではありません。着実にステップアップして世界を意識できるよう、北海道と共にクラブは前進を続けます。

(コンサドーレ北海道スポーツクラブ ラインマネジャー 佐藤 駿)

クラブプロフィール

設立年月日 平成26年2月14日(平成27年10月5日法人登記)

所在地 北海道札幌市中央区北三条西2丁目1-13 NC北専北三条ビル7F

運営 会員数1,100名(令和3年12月現在)、予算規模3億円(令和2年度)

特徴

- ・北海道初のプロスポーツクラブ
- ・北海道全域で事業展開
- ・アマチュアスポーツチームの運営
- ・パートナー企業による支援

連絡先 〒063-0052 北海道札幌市西区宮の沢2条3丁目4-1

TEL 011-777-5314 FAX 011-777-5320

URL <https://chsc.jp/>

E-Mail ssato@consadole.gr.jp